

講演「グローバルリーダーシップ／コミュニケーション」

～「グローバル企業で働く人になる本」(中経出版)の著者が語る～

世田谷ビジネス塾塾長

古川裕倫

趣旨：

これからはグローバルに活躍できる人材が求められる。

- 1、我が国の人ロ減少・少子高齢化による市場縮小で日本企業は世界に進出する必要あり。
- 2、とはいえ、高賃金・円高の状況下、生産拠点が日本にしかないのでは、戦えない。
- 3、引き続き、アップルや P&Gなどのグローバル企業が世界的に成長し、一市場だけに頼る企業は衰退する可能性が高い。街の酒屋・タバコ屋がコンビニに代わり、個人経営の食堂や居酒屋が全国チェーンの飲食業に淘汰されているのと同じことである。
- 4、よって、グローバルに生産し、グローバルに販売するという必要がある。

このまま日本企業は衰退していくのだろうか。いやそんなことはない。

幕末・明治の偉人たちが日本を大きくグローバライズさせたように、今の経営者や若手がグローバル化に対応すればよい。先人たちが行ったようにプローバルな人材を育成することである。

グローバル化というと、すぐに英語が障壁だと言う日本人が多い。本講演で述べるように語学に対する考え方や勉強法の間違いは簡単に直る。

海外留学1年間と大手商社で10年間海外勤務の経験持ち、リーダーシップやコミュニケーションなど多数のビジネス書著者。信条は、「先人・先輩の教えを後世に順送りする」とと「日本と世界の小さな架け橋になる」こと。

(レジュメサンプル)

1. 英国雑誌「The Economist」の記者がいう日本の欠落点とは？ 「（志）」
2. 札幌農学校クラーク博士。「Boys Be Ambitious!」と「（Be Gentlemen!）」
3. 日本から海外への発信(新渡戸稻造、内村鑑三)
4. 変化する必要性。幕末・明治維新のグローバリゼーションの背景
5. 志の高い人間の活躍(坂本龍馬、西郷隆盛他)  
(西欧のれんが職人の例)
6. 留学生派遣、外国人教師受け入れ
7. 「龍馬がゆく」「坂の上の雲」の主題とは(一事を成す)
8. 一事(浪漫)を成す  
「虎穴に入らずんば虎児を得ず」「では虎穴はどこにある」「(自分の足下にある)  
一事を探す旅もまた楽し。
9. 今は、外国人採用による狭き門？
10. グローバリゼーションとアイデンティフィケーション
11. 中学英語でできるビジネスコミュニケーション12
12. ビジネスパーソンが幸福になる3条件

以上

(添付資料)

【グローバリゼーション関連お勧め書籍】

- 「この国を出よ」(柳井正、大前研一、小学館)
- 「グローバル企業で働く人になる本」(古川裕倫、ブライアン・ミナハン、中経出版)
- 「2010年グローバル勝ち組企業の条件」(福住俊男、英治出版)
- 「学問のすすめ」(福沢諭吉、斎藤孝訳、ちくま新書)
- 「武士道」(新渡戸稻造、岬龍一郎訳、PHP文庫)
- 「代表的日本人」(内村鑑三、鈴木範久訳、岩波文庫)
- 「蒼翼の獅子たち」(志茂田景樹、川出書房新社)
- 「武士の娘」(杉本鉄子、大岩美代訳、ちくま文庫)
- 「中学英語ができるビジネスコミュニケーション」(古川裕倫、ファーストプレス)

【左脳右脳リーダーシップ】

■左脳リーダーシップリスト	■右脳リーダーシップリスト
<b>【能力】</b>	<b>【性格的なもの】</b>
<input type="checkbox"/> 方針決定が上手	<input type="checkbox"/> 笑顔がいい
<input type="checkbox"/> 計画立案がうまい	<input type="checkbox"/> 明るい
<input type="checkbox"/> 理解能力・説明能力が高い	<input type="checkbox"/> ユーモアがある
<input type="checkbox"/> 分析力が高い	<input type="checkbox"/> 気持ちがよい
<input type="checkbox"/> 判断力・決断力に優れている	<input type="checkbox"/> 心が温かい
<input type="checkbox"/> 論理的である	<input type="checkbox"/> 懐が深い
<input type="checkbox"/> 組織としての動きが上手	<b>【考え方や姿勢に関するもの】</b>
<input type="checkbox"/> 問題解決など手段が的確	<input type="checkbox"/> 一貫性がありぶれない
<input type="checkbox"/> 専門性・仕事のスキルが高い	<input type="checkbox"/> 言葉に責任を持っている
<input type="checkbox"/> 数字に強い	<input type="checkbox"/> 素直に自分の責任を認める
<input type="checkbox"/> スケジューリングができる	<input type="checkbox"/> 前向きに考える
<input type="checkbox"/> 優先順位が分っている	<input type="checkbox"/> 知ったかぶりせず、自分をさらけだすことができる
<input type="checkbox"/> 標準化・仕組み作りが上手い	<input type="checkbox"/> 自分の失敗談をよくする
<input type="checkbox"/> 指導・指示・命令が明確	<input type="checkbox"/> いばらない
	<input type="checkbox"/> 心配り・気配りができる。

出典:「大きな器のリーダーになれ」(古川裕倫、ファーストプレス)

### 【講師】

- 古川裕倫(ひろのり)、現在、株式会社多久案代表。日本駐車場開発株式会社(東証一部)社外取締役。情報技術開発株式会社(ジャスダック)外取締役。ビジネスアドバイザー。
- 信条は、「先輩・先人の教えを後世に順送りする」「日本と海外の小さな架け橋となる」
- 昭和29年生まれ。早稲田大学商学部卒。三井物産(23年間)、ホリプロ(7年間取締役)他
- お問い合わせ・連絡先

メール: [info@taku-an.co.jp](mailto:info@taku-an.co.jp) 、HP: <http://www.taku-an.co.jp>

Facebook: <http://www.facebook.com/FurukawaHironori>

### 【著書】

- 「グローバル企業で働く人になる本」(ブライアン・ミナハン共著、中経出版)
- 「入社10年後に活躍できる人、できない人」(プレジデント社)
- 「20代で知っておくべき失敗を成功に変える生き方」(プレジデント社)
- 「できる人の話す技術」(かんき出版)
- 「一生働く覚悟を決めた女性たちへ～仕事を楽しむ方法～」(扶桑社)
- 「20代でリーダーになる人の「人を動かす技術」」(日本能率協会)
- 「課長のノート」(かんき出版)
- 「大きな器のリーダーになれ」(ファーストプレス)
- 「他社から引き抜かれる社員になれ」(ファーストプレス、文庫化三笠書房)
- 「遊びも付き合いもやめない勉強法」(こう書房)
- 「できる人はすぐ決める」(大和書房)
- 「こんな会社選びが出来るプロへの第一歩だ」(ファーストプレス)
- 「我慢するな！部下は堂々と叱れ！」(グラフ社)
- 「バカ上司その傾向と対策」(集英社新書)
- 「中学英語ができるビジネスコミュニケーション」(ファーストプレス)
- 「女性が職場で損する理由」(扶桑社新書)
- 「他社から引き抜かれる人は話し方が違う」(三笠書房)
- 「30歳までに身につける仕事で一番大切なこと」(日本実業出版)
- 「仕事の大切なことは『坂の上の雲』が教えてくれた」(三笠書房)
- 「当たり前だけどなかなかできない51歳からのルール」(明日香出版)

【連載】日経 BP ネット「古川ひろのりの新社会人入門」、「竜馬から学ぶビジネスの要諦」

ITMedia エグゼクティブ「坂の上の雲から学ぶビジネスの要諦」

